

第 1 回愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会 会議録（概要）

会 議 名	第 1 回愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会
開 催 日 時	令和 7 年 7 月 2 4 日（木） 午後 2 時から午後 3 時 1 5 分まで
開 催 場 所	愛西市佐屋保健センター 2 階 会議研修室
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	別紙のとおり
協 議 事 項 等	1 あいさつ 2 委員長・副委員長の選出 3 協議事項 (1) 第 3 次愛西市健康日本 2 1 計画の位置づけと推進委員会のスケジュールについて (2) 第 3 次愛西市健康日本 2 1 計画のアクションプランについて 4 その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	次第 名簿 愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会設置要綱 愛西市審議会等の会議公開に関する要綱 資料 1 愛西市健康日本 2 1 計画の体系図について 別紙 1 第 3 次愛西市健康日本 2 1 計画における取組内容について 参考資料 市内団体における取組内容について（令和 6 年度版）
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市健康日本21計画推進委員会委員

役 職	所 属 等	氏 名	備 考
委 員	愛西市歯科医師	前 川 明 之	
〃	愛西市社会福祉協議会	竹 村 ゆき子	
〃	全国健康保険協会愛知支部	北 村 亜 希	
〃	愛西市保育協会	堀 田 真 吾	
〃	津島保健所総務企画課	平 澤 秋 子	欠席
〃	愛西市健康づくり食生活改善推進協議会	土 方 美津恵	
〃	愛西市健康づくり運動推進協議会	野 島 聡 美	
〃	あいさいスポーツクラブ	鹿 島 輝 夫	
〃	愛西市商工会	加 賀 隆	
〃	愛西市観光協会	加 藤 健 児	欠席
〃	愛西市内小学校養護教諭	伊 藤 真由美	
〃	愛西市内中学校養護教諭	堀 田 恵理子	
〃	市民代表	小 林 由利江	
〃	市民代表	中 野 秀 昭	

アドバイザー

所 属 等	氏 名	備考
藤田医科大学客員教授	巽 あさみ	

事務局

所 属 等	氏 名	備考
【健康日本21計画、自殺対策計画】		
健康子ども部長兼こども家庭センター長	人 見 英 樹	
保険福祉部参事	青 井 優	
健康子ども部健康推進課長	猪 飼 政 和	
健康子ども部健康推進課長補佐	村 瀬 さやか	
健康子ども部健康推進課長補佐	藤 松 志 乃	
健康子ども部健康推進課主査	山 田 文 枝	
健康子ども部健康推進課主査	奥 田 拓	
健康子ども部健康推進課主任	牛 田 雄 貴	
健康子ども部健康推進課主任	麻 西 志 保	
健康子ども部健康推進課主事	村 瀬 香 菜	
健康子ども部健康推進課主事	瀧 上 萌 愛	
健康子ども部健康推進課主事	苫 米 地 遥 奈	
【食育推進計画】		
産業建設部長	宮 川 昌 和	
産業建設部産業振興課長	清 水 直 樹	
産業建設部産業振興課主事	島 田 夏 希	

審議経過

発言者	内容（概要）
部長	1 あいさつ <部長よりあいさつ>
事務局	2 委員長・副委員長の選出について 委員長選出について説明
委員	第2次健康日本21計画の推進や第3次計画の策定にご尽力いただき、第2次計画推進作業部会副部長も務められた、前川明之委員を推薦する。
委員	賛同
事務局	副委員長選出について説明
委員長	第1次愛西市健康日本21計画推進委員会の委員を務められ、食生活改善推進員の会長として、長年ご尽力いただいている土方委員を推薦する。
委員	賛同
委員長	あいさつ
副委員長	あいさつ
事務局	3. 協議事項 協議事項（1）「第3次愛西市健康日本21計画の位置づけと推進委員会のスケジュールについて」事務局より説明 <質問及び意見なし>
事務局	（2）「第3次愛西市健康日本21計画のアクションプランについて」事務局より説明
委員長	アクションプランを立てる上で、各機関の事業や個人としての取り組みについて共有をしていきたい。 歯・口腔の健康に関しては、現状8020として80歳で20本歯を保つことができている人が増えており、良い状況になってきている。また、昨年度から愛西市では9020事業を開拓されており、歯を健康に保つことへのモチベーションが上がることを行ってもらっている。まずは幼い頃からしっかり歯磨きをして、より良い習慣をつけて大人になっていくことが歯を残すためには大切だと思っている。高校生までの歯科教育にももう少し取り組んでいくとより良いと思うので、そこが改善点だと思う。

委員	<p>地域の方と一緒に盛り上げる取り組みをしており、例えば、休養・こころの健康の分野においては子ども食堂を定期的で開催している。昼食を一緒に食べながら、学校や家庭での様子を聞き、家庭以外で安心して過ごせる居場所・環境を作っている。展開していく中での課題としては、愛西市内で地域差があり、開催ができていない地区があること。</p> <p>また、地域社会で支える健康づくりにおいては、ボランティア活動への支援を通して仲間づくりを促進している。ボランティア活動をもっと幅広く知ってほしいが、どのようにPRしていくか課題と考えている。</p> <p>最後に、市民の主体的な健康づくりを支援するために、介護予防や居場所づくりを目的にサロン活動を行っている。少しでも外出できるきっかけを作っているが、移動手段が課題となっている。暑い中歩いてくると、リスクもある。移動手段の整備や支援の手が広がっていけるように、検討していきたい。</p>
委員	<p>私たちの機関では、主に生活習慣病の発生予防と重症化予防について取り組んでいる。加入者へ特定健診の受診勧奨や、健康づくりの講座について案内をしている。また、未受診者への重症化予防として、電話や訪問で受診するきっかけを作っている。しかし、特定保健指導が進まない現状があるため、実施率をあげるためにダブルチャレンジという取組もしている。また、健康づくりに対して優秀な取組をした事業所を対象に市と協同で表彰をしている。課題としては、健康講座や健康づくりについてメール等で配信をしているが、周知が行き届いていないこと。</p>
委員	<p>一保育所の取組として、地産地消の意味も込めて、子どもたちが育てたサツマイモを使っておやつを作ったり、かまどでご飯を炊いてみたりと様々な取組をしている。さらに、管理栄養士による食育指導でだし等の話をしている。その中で朝食の欠食が問題と感じている。保護者は働いていると、自分や子どもの準備で子どもを起こす時間がギリギリになり、朝食を食べてこないまま登園してくる場合がある。朝食を食べてくるためにはどのように家庭支援をしていくのか検討しているが難しい。</p> <p>身体活動面においては、1日15分は必ず運動する習慣や週1回は体育教室を開催している。特に外で遊べない時期は室内で過ごすことが増え、それに伴いタブレット等の使用時間が増えている。</p> <p>子どものこころについては、ちくちく言葉やふわふわ言葉をパネル等も用いながら伝えている。また、子ども会議を開催して友達や自分の意見の違いや、今の自分の気持ちを伝えるための練習などに取り組んでいる。</p>
委員	<p>地域で運動を推進するために、スポーツクラブで3教室を担当したり、のびのび健康教室を開催している。また、あいさいさん祭りに参加することで、健康づくりの周知をしている。他にも、出前講座として地域の小学校や児童館、地域の大会等で、「あいさいのびのびストレッチ」や「野菜の歌」を使った体操をすることで、運動習慣のきっかけづくりをしている。このような活動をすることで、市民の方の健康づくりや仲間づくりを支援している。</p>

委員	<p>愛西市の食に関する活動をしている。例えば、今年はいいさきさん祭りで箱ずしを提供し、郷土料理について知ってもらう機会をつくる予定をしている。また、愛西市は野菜がたくさん採れるため、地域の野菜を使って何かできないか計画をしている。しかし、コロナをきっかけに活動が難しくなり、その期間で会員の高齢化も進んでいる。厳しい現状があるが、以前開催していた事業もできる範囲で再開していきいと思っている。</p>
委員	<p>スポーツクラブでは、子どもから高齢者までそれぞれの専門の先生にきてもらい、様々な講座を行っており、現在20講座開催している。講座を通した横のつながりは日々感じており、講座が終わってからも話している姿がある。自分自身も運動員の手伝いや、市と協同して運動を通した健康づくりを推進している。</p> <p>講座の周知については、市の広報やホームページを通じて行っている。会員として参加するため料金がかかるが、民間で開催している講座より格段に安い値段設定になっているため、市民には広く利用していただきたいが、利用につながる周知をどのようにしていくかが課題である。</p>
委員	<p>商工会の会員は小規模事業者と個人事業主で成り立っており、会員数が1,141人。会員やその家族、従業員に向けた健康診断事業を行っており、健康診査代金の補助を行い、1人でも多くの方に受けてもらう取組をしている。働き方改革や健康経営などの労働環境の改善や、健康で働き続けるための環境が求められている中で、人材不足や従業員のモチベーションの維持等、様々な背景を抱えている個々の会員が、どう工夫しながら取り組んでいくかが課題であると感じている。</p>
委員	<p>現在、学校保健での子どもたちの健康課題は、多様化・深刻化・複雑化している。その中で特に睡眠時間とメディアの使い方について重点的に行っている。子どもたちを対象に行ったアンケートを集計したところ、メディアを長時間使用している子どもは就寝時間が遅い傾向にあることが分かった。そのため、チェックシートを用いて自分の時間の使い方を視覚的に知り、子ども自身に、メディアコントロールの力をつけることができるよう取り組んでいる。特に夏休みに入ると生活リズムが崩れる家庭が多いため、宿題として家族と一緒に目標に対して取り組むチェックシートを保護者へ配布している。生活習慣は家庭によって違い、子どもや保護者の意識も違いがあるため、一斉指導だけでは難しいと感じる場面もある。</p>
委員	<p>中学校でも様々な取組をしているが、思春期特有のこころの健康に課題を抱えている生徒が多いと感じる。そのため、生徒が毎日タブレットの「こころのアンケート」で今日の気持ちを入力させることで、気になった生徒に対しては教員から声をかけたり、表情等を気にしてみている。また、たばこ・アルコール関係では、薬物乱用について深く学ぶ教室を中学2年、3年生で開催している。</p>

委員	<p>栄養・食生活に関する大型紙芝居を使って児童館で活動をしている。愛西市内でも児童館のみならず、保育園や幼稚園・小学校等で楽しく学べるきっかけを作りたいと感じている。そのためには、ボランティア活動に参加できる人材が必要。</p>
委員	<p>市民として日々様々な取組をしているが、この会議を通して健康づくりについて学んでいきたい。また、学んだことを家族や地域の人に伝えていきたいと思っている。</p>
アドバイザー	<p>今後のアクションプランについては、まず長期・短期計画をもとにどこまでに何をするかを決めて実施し、評価をする。こういった計画は、市が主体になることが多いが、この計画は市民一人一人の行動と健康状態の改善が根本にある。市民が主体的に健康づくりに取組むことが基本となる。市民が主体的になるためには、自分自身の健康状態や改善方法について、行政をはじめとした、地域の組織・団体からの支援は必要である。</p> <p>それらの地域のつながりをソーシャルキャピタルの強化といい、人の行動を活発にすることにより、地域における健康問題の解決能力が高まる状態のことを言う。ソーシャルキャピタルを強化することで、人々が信頼しあい、協力し合う社会環境が、よりよい健康状態につながる。愛西市の地域のつながりは全国と比べても強く、それはとても大きな強みとなる。今まで培ってきた事業や教材を活用しながら、団体がつながりながら計画を立てていくことで、よい推進ができる。それが笑顔あふれる愛西につながっていく。</p>
事務局	<p>今後、各機関や市民としての取組をライフステージ別にまとめたものを作成していきたい。出来上がり次第、委員のみなさんに共有をさせていただく。それをもとにアクションプランをより充実した計画になるように、具体的な取組について検討をしていきたい。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回開催時期については令和8年2月頃を予定している。</p> <p>閉会</p>